

## ◆ 会員企業の新たなビジネスを支援します！ ◆

令和3年7月より新しく生まれ変わった「いばらき量子線利活用協議会」では、これまでのJ-PARCの利活用支援、関連機器受注支援に加え、新たに**量子線を活用した事業化支援やビジネス機会の提供**を行ってまいります。今回はその新たな取り組みとして開催した2つのイベントをご紹介します！

また、事務局に**ビジネスの相談窓口**を開設し**技術相談**や**新ビジネスモデル構想に向けての相談**等も受付しております。そのほか、各種セミナーやビジネスマッチングイベントも企画していきますので、このようなイベントを実施してほしいなど、ご相談やご要望などお気軽にお問い合わせください。

### 新ビジネス参入セミナー開催！

R3.8.26

新しい支援の第1弾の取組みとして、ビジネスモデル構築のための初心者向けセミナーを8月26日13:30～15:00にオンラインにて開催いたしました。

量子線利活用協議会となって初のセミナーとなり多数ご参加いただきました。セミナーの内容は、破壊的イノベーションモデル、働き方改革、ビジネスモデル、ビジネスモデルの事例などでした。

ビジネスモデルとは、市場への仕掛けと仕組みを組み合わせた儲けの構造と定義されています。セミナーではビジネスモデルの事例も3例ほど紹介されていました。下記にセミナーで説明されたVUCAな時代における儲けの構造に関する図を示します。本セミナーの参加者は16名でした（事務局含む）。

本セミナーが会員企業のビジネスモデル再構築につながる事が期待されます。



講師の榊ひたちなかテクノセンター企業支援部 木下隆之氏



市場への仕掛けと仕組みを  
組み合わせた儲けの構造  
ビジネスモデル創造へ

### 会員(法人)異動のお知らせ (R3/12月現在/敬称略)

#### ◆ 新規入会 (合計会員企業数：228社)

- ・(株) ヨシダ  
電話：029-297-1005
- ・(株) 大江製作所  
電話：029-282-7174

### 県内企業 & JAEA 産学連携情報 交流会開催！

R3.12.10

JAEAと企業がどのように連携して事業を成功に導いたかを皆様にご紹介する情報交流会を12月10日14:00～15:15にオンラインで実施いたしました。参加者数は事務局を含め35名でした。

JAEAイノベーションハブ長 橋本 裕之氏、茨城県産業戦略部 技術振興局技術革新課 企業支援監 山崎 由貴氏からの挨拶に続いて、①実際の産学連携事例の紹介2件、②JAEAが企業と連携を希望するテーマの紹介4件の2部構成で実施されました。

- ①「出会いがターニングポイントに！」～産学連携事例の紹介～
  - (1) 排水路用放射線モニター開発ストーリー  
 廃炉環境国際共同研究センター&  
 日本放射線エンジニアリング株式会社  
 概要：福島第一原子力発電所構内の排水路の汚染水漏洩をリアルタイムに早期検出する放射線モニターを共同開発。ポイントは“長年の連携”です
  - (2) レーザー遮光カーテン開発ストーリー  
 敦賀総合研究開発センター&  
 ウラセ株式会社  
 概要：レーザーの反射光や放射光を遮蔽する軽量のカーテンを共同開発。JISで求められる作業環境を容易に確保できます。ポイントは“開発スピード”です。
- ②「アイデアをカタチに！」企業と連携を希望するテーマの紹介
  - (1) 水中ROV(遠隔無人探査機)の実用化に向けて  
 概要：再処理センターでは水中の廃棄物取り出し装置の開発を進めています。水中ROV、水中リフタなどの技術を持つ企業を求めています。
  - (2) 光触媒TiO<sub>2</sub>の弱点を克服  
 概要：紫外光が当たると働き始める光触媒成分「酸化チタン(TiO<sub>2</sub>)」を屋内の光でも働くように改良。光学特性や抗菌機能などの評価技術を有する企業におススメ。
  - (3) ハイテク産業に欠かせないレアメタルを高効率に分離  
 概要：イオンサイズの近接した希土類イオンを、高効率で相互に分離し回収する技術。レアメタルの回収や金属のリサイクルに興味のある企業におススメ。
  - (4) 回転機器中の堆積物の効率的な洗浄機能  
 概要：洗浄時間、洗浄液量が約1/5に。機器を分解せず早期の運転再開を可能とする技術。定期的な洗浄を要する回転機器を製造、メンテナンスする企業におススメ。

見逃し配信もございますので、ぜひご覧ください！

<https://tenkai.jaea.go.jp/achievement/caseandseeds/index.html>